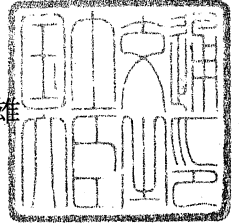


# 認定書

国住指第 2470 号  
平成 18 年 1 月 31 日

積水化学工業株式会社  
代表取締役 大久保 尚武 様

国土交通大臣 北側 一雄



下記の構造方法又は建築材料については、建築基準法第 68 条の 26 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 5 第 1 項第七号ハ〔防火区画貫通部 1 時間遮炎性能〕の規定に適合するものであることを認める。

## 記

1. 認定番号  
PS060WL-0297
2. 認定をした構造方法又は建築材料の名称  
ケーブル/黒鉛含有ブチルゴムシート裏張アルミニウムはく張ガラスクロス・  
有機質バインダー系耐熱シール材充てん/壁耐火構造/貫通部分
3. 認定をした構造方法又は建築材料の内容  
別添のとおり

(注意) この認定書は、大切に保存しておいてください。

## 1. 構造名

ケーブル/黒鉛含有ブチルゴムシート裏張アルミニウムはく張ガラスクロス・有機質バインダー系耐熱シール材充てん/壁耐火構造/貫通部分

## 2. 寸法及び形状等

(寸法単位：mm)

項 目	申 請 構 造
開 口 部	(形状) 円形 (面積) 0.0095 m <sup>2</sup> 以下 (φ0.110m 以下)
占 積 率 (開口面積に対するケーブル断面 積の総合計の割合)	34.0%以下 (0.0032m <sup>2</sup> 以下)
貫通する壁の構造等	(1) ~ (3) のうち、いずれか一仕様とする (1) 中空壁 (建築基準法施行令第115条の2の2第1項第一号の規定に基づき、大臣が指定もしくは認定した準耐火構造(60分)及び建築基準法第2条第七号の規定に基づき、国土交通大臣が指定もしくは認定した耐火構造(60分)の壁) ・厚さ 100 以上 (2) ALCパネル ・厚さ 75 以上 (3) コンクリート ・厚さ 70 以上

3. 材料構成

1) 主構成材料

(寸法単位：mm)

項目	申請構造	
ケーブル	導体断面積	60mm <sup>2</sup> 以下 (1心あたり)
	総発熱量	87, 120kJ/m 以下
	総導体 (心線) 断面積	320mm <sup>2</sup> 以下
	本数	総発熱量を各ケーブルの発熱量で割った数以下、かつ 総導体断面積を各ケーブルの導体断面積で割った数以下
	規格	次の規格のうち、いずれか一仕様とする 1) JIS 規格 JIS C 3307, 3312, 3317, 3323, 3327, 3342, 3401, 3407, 3408, 3501, 3502, 3503, 3605, 3606, 3612, 3621, 3662, 3663, 6850 2) 日本電線工業会規格 イ) 絶縁電線 JCS 3346, 3368, 3403, 3407, 3410, 3416, 3417, 3501 ロ) ケーブル JCS 4258, 4271, 4316, 4329, 4347, 4348, 4353, 4355, 4364, 4369, 4370, 4376, 4395, 4396, 4398, 4406, 4418, 4419, 4425, 4426, 4427, 4501, 4502, 4504, 4505, 4506, 4507 ハ) 通信ケーブル JCS 5058, 5224, 5287, 5327, 5381, 5382, 5383, 5402, 5412, 5420, 5421, 5422, 5423, 5424, 5501, 5502 ニ) 通信用電線 JCS 9068, 9069, 9070, 9071, 9072, 9073, 9074, 9075, 9076 3) 消防用電線 イ) 耐火電線 平成9年消防庁告示第十号 ロ) 耐熱電線 平成9年消防庁告示第十一号
	外径	22 以下
	導体種類	(1)～(6)のうち、いずれか一仕様とする (1) 銅 (2) ガラス繊維 (3) アルミニウム (4) ニッケル (5) クロム (6) 鉄
	絶縁体	(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1) ポリエチレン系樹脂 (2) 塩化ビニル系樹脂
	シース	(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1) ポリエチレン系樹脂 (2) 塩化ビニル系樹脂

項目	申請構造				
	防火措置材料	膨張材（ケーブル被覆用） 「黒鉛含有ブチルゴムシート裏張 /アルミニウムはく張ガラスクロス」 (以下、熱膨張性シート1という)	総厚さ		2.09 以上
幅			50 以上		
基 材			厚さ	0.09～0.25	
			幅	50 以上	
			構成	アルミニウムはく張ガラスクロス	
シ ー ト			厚さ	2.0 以上	
			幅	50 以上	
		組 成 (質量%)	黒鉛含有ブチルゴムシート		
膨張材（開口部被覆用） 「黒鉛含有ブチルゴムシート裏張 /アルミニウムはく張ガラスクロス」 (以下、熱膨張性シート2という)		総厚さ		1.09 以上	
		寸法		開口径+40 以上（片側 20 以上）	
		基 材	厚さ	0.09～0.25	
			寸法	開口径+40 以上（片側 20 以上）	
			構成	アルミニウムはく張ガラスクロス	
	シ ー ト	厚さ	1.0 以上		
		寸法	開口径+40 以上（片側 20 以上）		
組 成 (質量%)		黒鉛含有ブチルゴムシート			

(寸法単位：mm)

項目	申請構造			
シール材(充てん材)	(1)～(4)のうち、いずれか一仕様とする			
	(1)有機質バインダー系耐熱シール材	組成(質量%)	有機成分 1)～4)のうち、いずれか一仕様とする 1)ポリオレフィン系樹脂 2)ウレタン系樹脂 3)ポリブテン系樹脂 4)ポリブタジエン系樹脂 ただし有機系質量(質量%)は40以下とする	
			無機成分 1)～7)のうち、いずれか一仕様または組合せとする 1)炭酸カルシウム 2)水酸化金属塩 3)けい酸塩 4)クレー 5)タルク 6)膨張性黒鉛 7)無機繊維等 ただし無機系質量(質量%)は60以上とする	
			酸素指数	40以上
			比重	1.4以上
		幅	20以上(両側)	
	(2)せっこう系接着剤	幅	20以上(両側)	
	(3)せっこうボード用目地処理材	規格	JIS A 6914	
		幅	20以上(両側)	
	(4)モルタル(壁がコンクリート又はALCの場合のみ)	幅	20以上(両側)	

## 2) 副構成材料

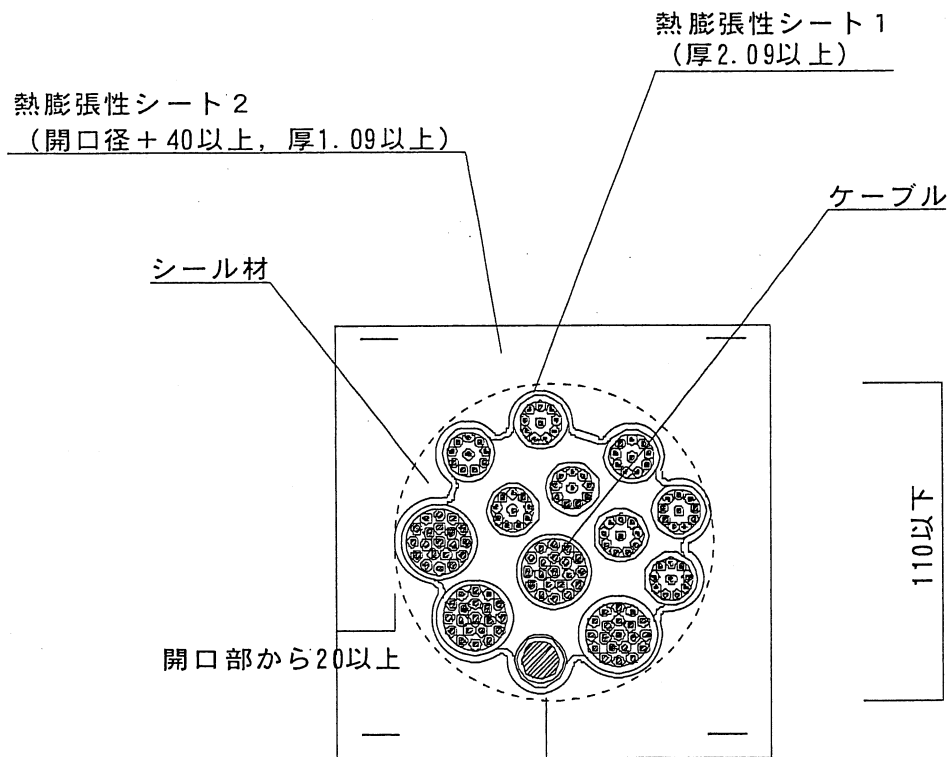
(寸法単位：mm)

項目	申請構造		
熱膨張性シート2留付け材料	(1), (2)のうち、いずれか一仕様とする		
	(1) タッカー針	寸法	10以上×10以上
	(2) ビス	寸法	φ2.1以上×ℓ10以上

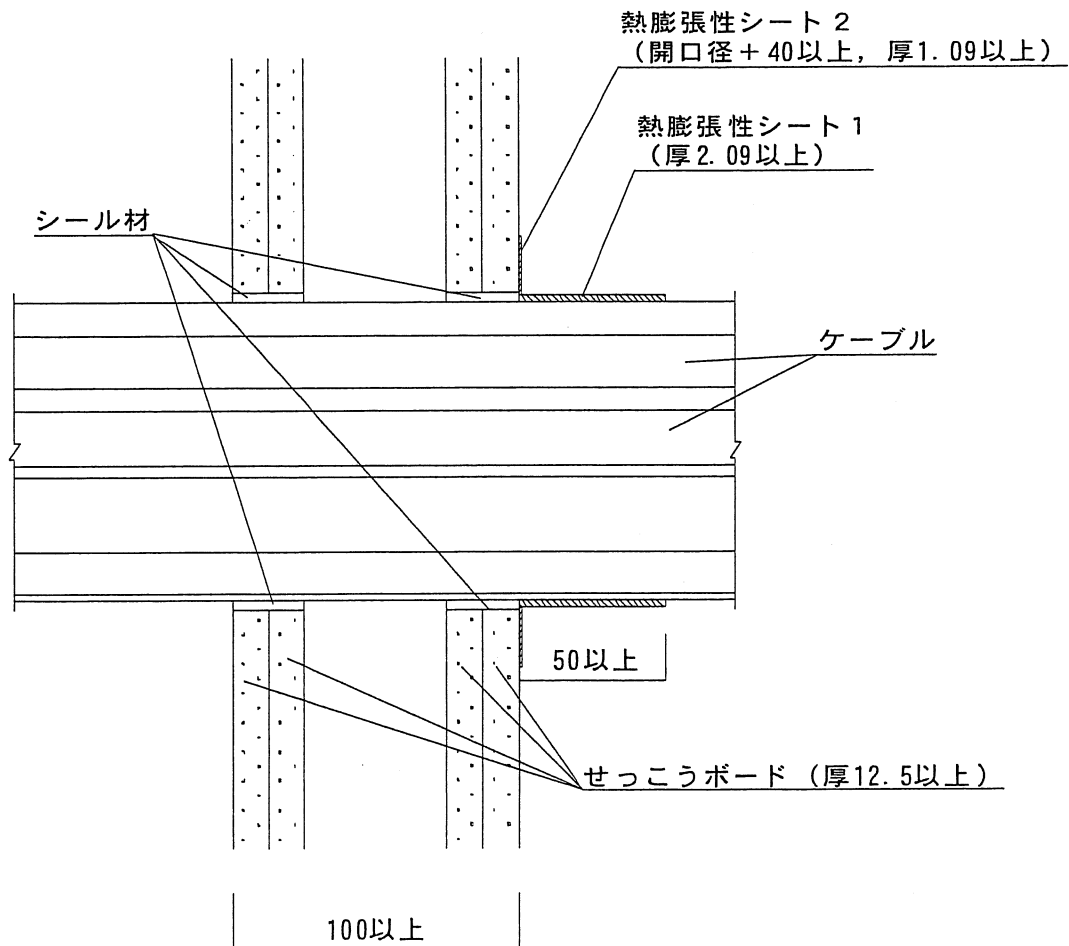
#### 4. 構造説明図

(寸法単位：mm)

##### ・正面図



##### ・断面図



注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

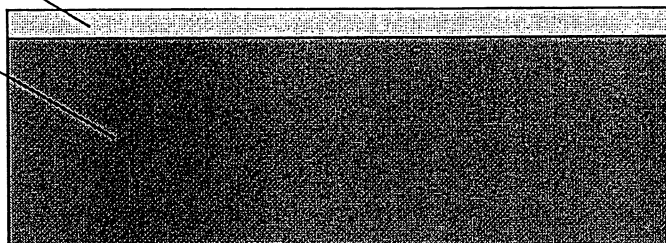
(別添-5)

熱膨張性シート図

1) 熱膨張性シート 1

アルミニウムはく張  
ガラスクロス(厚0.09~0.25)

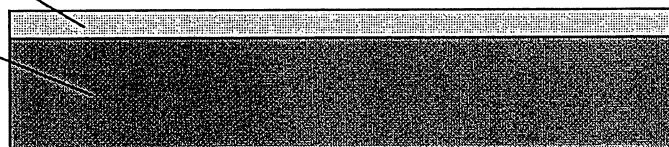
黒鉛含有  
ブチルゴムシート(厚2以上)



2) 熱膨張性シート 2

アルミニウムはく張  
ガラスクロス(厚0.09~0.25)

黒鉛含有  
ブチルゴムシート(厚1以上)



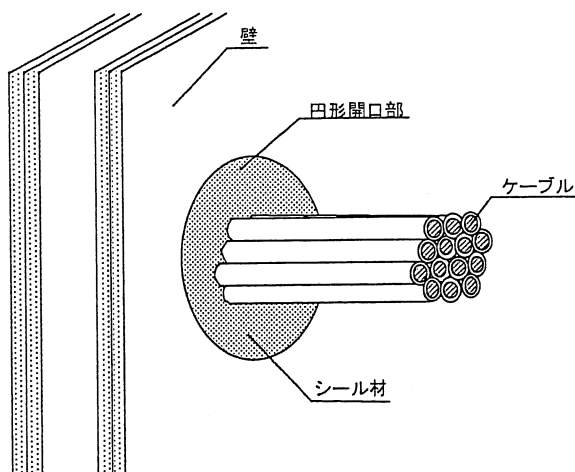
注) 寸法および材料構成は、2および3のとおり

## 5. 施工方法等

### <施工手順>

#### (1) 事前準備

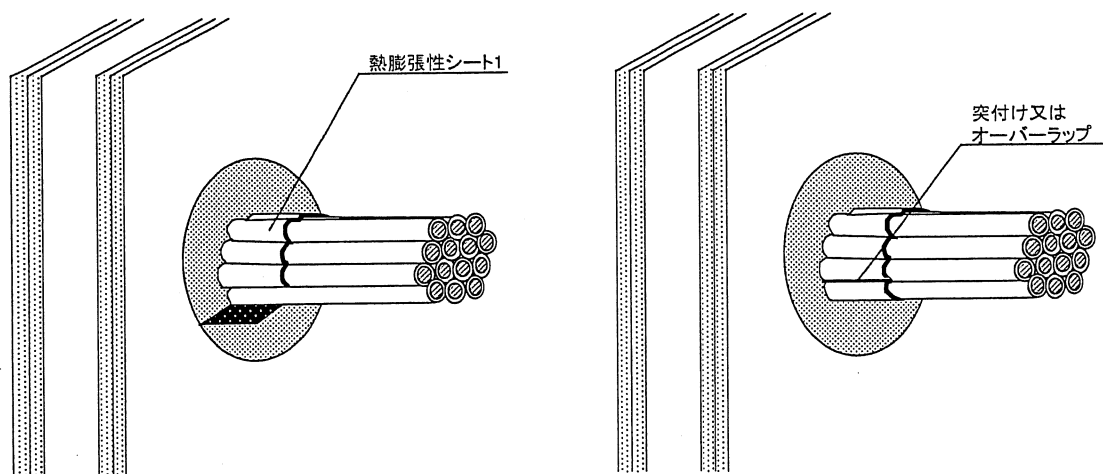
- (1)-1 ① ケーブルが区画貫通する位置に予め開口部を設置する(開口径φ110mm以下)。
- ② 開口部に配管する。
- ③ 両側の開口部の隙間にシール材を充てんする。



#### (2) 区画貫通処置 (片側の開口部のみ)

##### (2)-1 ① 熱膨張性シート1の巻付け

ケーブルに熱膨張性シート1を巻付ける。熱膨張性シートは巻物のまま直接管に巻付けてもよいし、所定の長さに予め裁断したものを巻付けてもよい。また、熱膨張性シート1巻付けの初端と終端は隙間なく必ず接するように巻付ける(オーバーラップ可)。

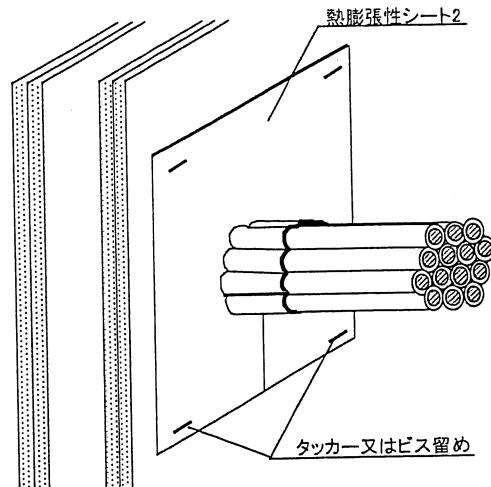




② 熱膨張性シート2の設置

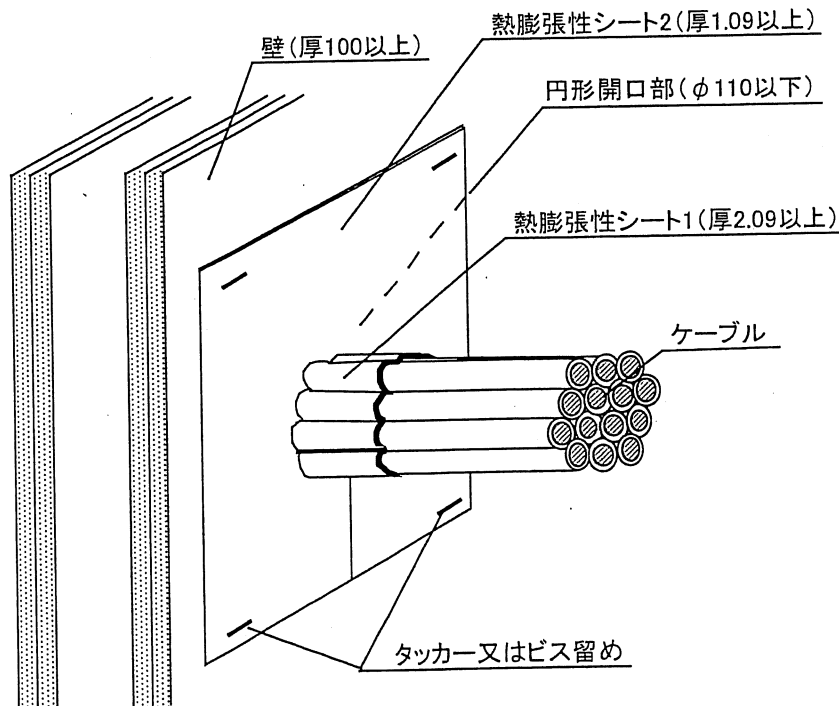
熱膨張性シート2をケーブルの配置に合わせて切り欠き、設置し、タッカーまたはビスで留める。

(熱膨張性シート2は、開口の端から20mm以上、計40mm以上の大きさとする。)



(寸法単位：mm)

<施工図>



注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

6. 注意事項

本構造に使用する被覆材については、耐久性に留意し、所定の耐火上の性能が維持されるよう適切な処理を行う必要がある。

火災時において、ケーブルの荷重が中空壁にかかって危険な状態になることがないように、ケーブルを吊る。

(別添-8)